

|   |          |
|---|----------|
| 実施日： 4月3日～7月18日   |          |
| 領域： 特別活動  |          |
| 取組名： 「 自ら考え、行動し、自分の未来を創造する校則と制服 」を考える   |          |
| 対象： 全校生徒  | 実施場所： 教室 |
| <p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自らが話し合い、決定する取り組みを通して、自己肯定感を高め、生きる力を育む。</li> <li>自分の身近な校則の見直しに参画することで「参加する権利」の主体である自覚を持たせる。</li> </ul>   |          |
| <p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制服業者による制服の着こなしセミナーを通して、制服の意義について考えを深めさせる。制服の見直しを含めた校則に関する検討委員会を設け、計画を作成するとともに、全職員で共通理解する。</li> <li>特別活動（学級活動）等の時間を活用し、全学級で話し合い、生徒会で意見をまとめさせる。</li> <li>PTA や学校運営協議会と協議し、制服の見直しについて共通理解する。</li> <li>制服のボタンのデザインを生徒に考案させ、制服の一部に取り入れることにより、学校生活における参画意識を高めるとともに、所属意識や自尊感情を高める。</li> </ul> |          |
| ウ 連携先： 家庭・地域  |          |
| <p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート等で意見を聞いたり、PTA、学校運営協議会等で見直しに向けた意見交換を行ったりする。</li> <li>学校ホームページや学校便りに制服の見直しを含めた校則を掲載する。</li> </ul>   |          |
| <p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のアンケートや発言等から生徒の「参加する権利」に関する意識の高まりを把握するとともに価値付け等のフィードバックを行う。</li> <li>制服の見直しを含めた校則に関する検討委員会を設置する。</li> <li>校務連絡会等で課題、懸案事項を確認するなど、情報共有を徹底する。</li> <li>検討委員会等には、適宜、人権教育研究推進委員、管理職が参加し進捗管理を行う。</li> </ul>  |          |
| <p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察                      ・アンケート</li> </ul>   |          |
| <p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制服・校則の見直しの過程に生徒が参加し、自由に意見を述べることで一人ひとりの存在や思いが大切にされているという自己存在感・所属感を実感し、自己肯定感を高めることにつながった。</li> <li>学校生活の様々な場面で、自らの意見を自由に述べ、自ら考え、選択し、決定することができるようになり自立へとつながった。</li> <li>多くの生徒が自分たちの意見で自分たちの生活をよりよくしていくことにつながることに気づく機会にすることができた。</li> </ul>  |          |
| <p>ク 課題</p> <p>生徒が自己決定する様々な場面づくりが大切であるが、身勝手な「自己決定」ではなく、他の人の立場や意見を大切にすることを根拠にし、折り合いをつけながら協議を行う経験を積み上げて行く必要がある。そのことが自他の権利を尊重する態度の育成につながる。</p>   |          |

※ 学習指導案、人権教育資料やその指導例、児童・生徒・参加者等の感想や活動写真、アンケート結果等、

※ 参考となる資料を添付願います。